

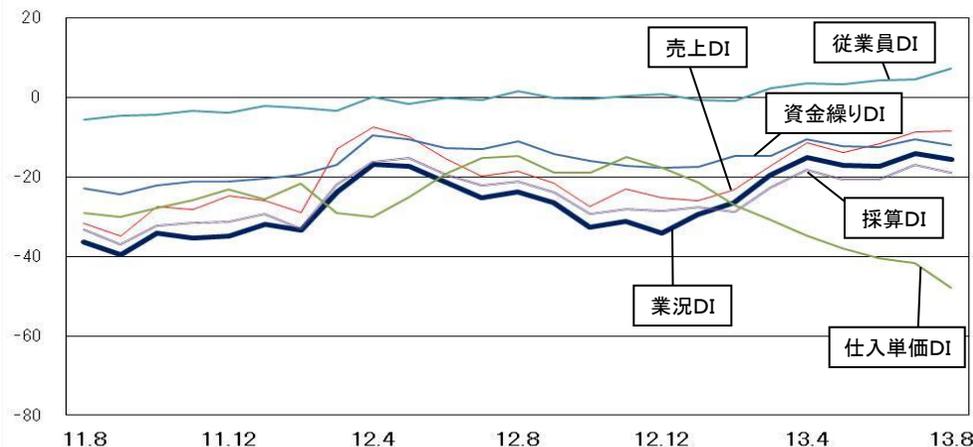


業況DIは、回復基調続くも、足元では一進一退で推移

ポイント

- ▶ 8月の全産業合計の業況DIは、▲15.7と、前月から▲1.6ポイントの悪化。燃料や原材料の価格上昇・高止まりが長期化し、電力料金などの負担増が続く中、依然として景気回復の実感が得られていないとの声が根強い。一方、公共工事や住宅関連が下支えする建設業のほか、消費者マインドの好転や外国人観光客の増加により観光関連では好調が続く。売上の堅調な推移を背景に、中小企業の景況感は総じて回復基調が続いているものの、仕入価格の上昇が採算悪化を招き、今一段の業況改善の足かせとなるなど、足元では一進一退の動きとなっている
- ▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲12.7(今月比+3.0ポイント)と、改善する見込み。仕入価格の上昇や燃料費・電力料金などのコスト増に伴う収益圧迫が続いていることから、一部では先行きに対して慎重な姿勢がみられるものの、堅調な建設業や観光関連が全体を押し上げているほか、製造業でも自動車や住宅関連などで持ち直し傾向が続いており、回復基調は継続するとみられる

LOBO全産業合計の各DIの推移(2011年8月以降)



仕入価格の上昇による経営への影響

- ▶ 為替や原材料価格の高騰に伴う仕入価格の上昇により「すでに業績が悪化している」企業(全産業)は30.0%。2013年5月調査(23.5%)時点より業績が悪化している企業は増えている
- ▶ 販売価格に原材料等の仕入価格上昇分を「ほとんど転嫁できていない」企業(全産業)は、69.6%(iii)+(iv)と約7割が転嫁できていない

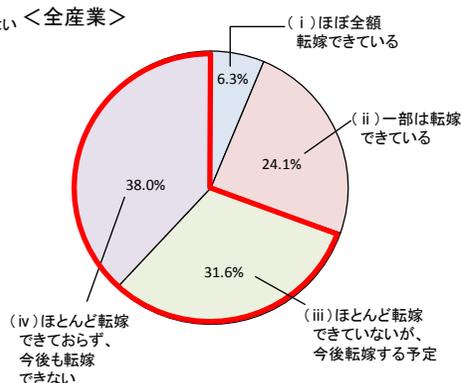
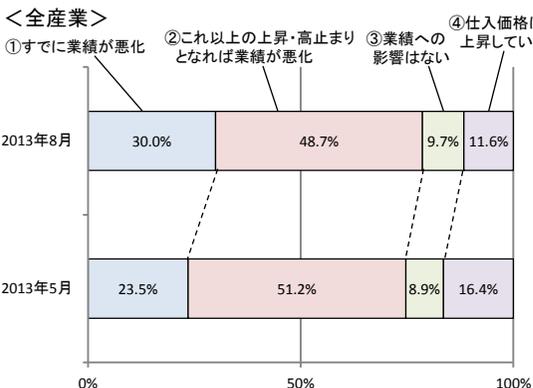
[中小企業の声]

- ▶ 8月に入り、石油関連製品の仕入価格が10~15%上昇しているが、価格への転嫁は難しい(北見 管工事業)
- ▶ 運送業にとって、燃料(軽油)価格の高騰は死活問題であり、非常に厳しい状況(新潟 運送業)
- ▶ 可処分所得が増えていないことから、消費者の低価格品への志向は根強い。値下げニーズは高いと思うが、仕入商品の価格上昇が続いており、対応が困難(新発田 貴金属小売業)
- ▶ 輸入食材の仕入価格は上昇しているが、すぐに販売価格に転嫁するのは困難(信州中野 レストラン)
- ▶ 原材料の仕入価格の上昇分は、半分程度転嫁できているが、電力等のコスト面の上昇分の転嫁はできない(さいたま 自動車部品製造業)
- ▶ 為替の影響もあり、ナフサの仕入価格が高騰。価格転嫁に向けて、取引先と値上げ交渉中(岐阜 プラスチック製品製造業)
- ▶ 建築資材の価格上昇が止まらず、利益を圧迫(土佐清水 建築工事業)
- ▶ 仕入価格の上昇分は転嫁できているが、燃料費等の経費面のコストアップ分の転嫁が困難(長崎 食品卸売業)

◆仕入価格上昇の経営への影響

◆販売価格への転嫁状況

※仕入価格が上昇しているとする企業①~③が回答



(参考)◆経営上望ましい為替水準

※調査期間(8月16日~22日)の為替水準:97円前半~98円後半で推移

